



優れた、より良い福祉コミュニティーをめざして

ふれあいネットワーク

まほろば

社協広報

第62号



写真 上竹田子育てサロン

子育てサロン

みんなでたのしく味噌作り。大豆をつぶし、香り豊かな味噌が仕上がります。
くわしくは、3ページをご覧ください。



| | |
|-----------------------------|-----|
| 山形村福祉のつどい | 1・2 |
| 子育てサロン | 3・4 |
| 介護職員初任者研修 | 5 |
| まほろばトピックス | 6 |
| 赤い羽根・歳末たすけあい 共同募金運動の実施結果 | 7 |

平成25年度

山形村福祉のつどい

12月7日(土)に山形村ミラ・フード館ホールミラにて平成25年度山形村福祉のつどいを開催いたしました。

社会福祉協議会会長表彰

社会福祉活動功労者の方々へ表彰状が授与されました。

笹川武清様
上條智佐雄様

地域福祉の発展に寄与された功績に感謝申し上げます。



物産展・奉仕団バザー



昨年度に引き続き、東北の物産展を行いました。今年は宮城県石巻市と岩手県山田町、釜石市より一夜干しや醤油などの特産品を販売いたしました。売上総利益は被災地へ寄付させていただきました。皆さまのご協力ありがとうございました。



また、毎年恒例の日赤奉仕団によるバザーも行われ、奉仕団員の手作りによる手差しや鍋つかみ、お薬手帳など幅広い年齢の方に使ってもらえる商品が販売されました。

そして、今年4月より開設した『すばる』の就労支援センターでは、作業所で作ったシフォンケーキなどを販売しました。当日は作業所のメンバーも一緒に接客をし、商品も好評でした。

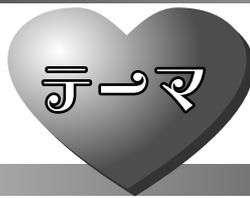


みんなの絵画展

「共に生きる」を考える会 てまりの皆さん、生きがいデイサービスの皆さん、いちいの里デイサービスの皆さん、建部の里の皆さん、就労支援センターすばるの皆さんの作品が展示されました。多くの方から作品を提供していただき、見応えのある展示コーナーとなりました。



開催!



「心をつなぐ」

子供用品リサイクル会

昨年度開催し好評であった子ども用品リサイクル会を行いました。多くの提供者の方に来ていただき、沢山の用品が揃いました。皆さまのご協力ありがとうございました。



講演会

「より良い子育て環境を築く ～親と子の魅力ある関係づくり～」と題して、松本大学 准教授 矢崎久氏の講演がありました。

矢崎氏からは、多くの教育現場・臨床現場で活躍された、その経験からのお話をいただきました。

講演内容

子どもを育てる環境を構成するものには自然、家庭、友人、学校などがあり、そのうち自然環境についてわかってきたこと、科学技術の発展により引き起こされていること、について説明があった。風邪をひきやすい人と、そうでない人がいる。→反応のつぼが違う。摂取しすぎると身体に影響を及ぼす食品がある。ストレスや環境経由で身体に影響を及ぼすことがある。化学物質が免疫系や内分泌系、自律神経系に影響を及ぼすこともある。さまざまなストレス・化学物質の複合影響は評価も困難である。子どもや胎児は大人の半分以下の体重であり、影響を受けやすいため、注意が必要である。

参考となる情報の紹介

アメリカ国立衛生研究所臨床医学センターの研究：

人間の脳は出産前と15～25歳の2回大きな構造変化があるようだ。

その際に不必要な脳神経細胞の細胞剪定が行われているのではないかと、軽度の発達障害や精神疾患は細胞剪定の過不足に影響している可能性も考えられる。

日本国立環境研究所による研究：

内分泌攪乱化学物質が胎児や小児に取り込まれると、諸障害を引き起こされる可能性も考えられることや、電磁波が心身に好ましくない影響を与えている可能性も考えられる。

身近な食品・抗菌剤や携帯電話のことを取り上げての講演内容には参加された皆さんの関心をよびました。

最後に全員で心理テストを行いました。バウムテストというもので、好きな色画用紙を選んで「実のなる木」を描き、心理状態を判断するテストでした。選んだ色や、絵を描いた位置、実の状態、力強さ等が、描いた方の心理状態や性格を判断ができることから、実際のカウンセリングの場面や、採用試験の場面で使われているそうです。

季節柄でしょうか、ピンク色の用紙を選んだ方が多かったようです。ピンク色は「愛であふれた人間関係を持ちたい方」とのことで、それぞれ選んだ色の心理状態の説明に、会場は大いに盛り上がりました。



子育てサロンの

★上竹田子育てサロン★

皆さん、「子育てサロン」はご存じですか？

このサロンは社会福祉協議会が行う地域福祉事業の1つとして、3年前から始まっています。

はじまりのきっかけとなったのは、上竹田にお住まいの地域の方の声からでした。

「『子育てサロン』を自分の住む地区の公民館を利用して行いたい。自分が子育ての際に悩んだ時にどこに相談して良いのか分からなかった。そんな経験があったから、子育て中のお母さん達が少しでもリフレッシュできるようなお手伝いをしたい。」とのこと。

そんな相談を受け、区長さんのご協力もあり、月1回月曜日に上竹田公会堂で「上竹田子育てサロン」を開催することになりました。対象は子育て中のお母さんと小学生までのお子さん。上竹田子育てサロンには、0歳から3歳ぐらいの子どもが10組ほど集まります。日程は9時30分から13時まで。ボランティアさんと社会福祉協議会の職員が沢山のおもちゃを用意します。持ち物は参加費100円とマイお椀、マイお箸、おにぎり。お昼にはお味噌汁を皆で飲みます。この味噌汁はボランティアさんに作っていただきます。「この子は家で味噌汁のまないの？」や「苦手な野菜が食べられた！」と参加者のお母さんから好評をいただいています。子育てサロンの中で参加者と作った味噌や、ボランティアさんのお家で採れた野菜を提供していただいています。

その他にも、夏は水遊びをしたり、お母さん同士で着られなくなった服の交換をしたり、9月の子育てサロンには、いちいの里すばるの利用者さんが遊びに来てくれました。子どもが大好きな利用者さん。一緒におままごとで遊んだり、0歳の子をあやしたり、お母さん方とお話をするなど楽しい時間を一緒に過ごしていただきました。

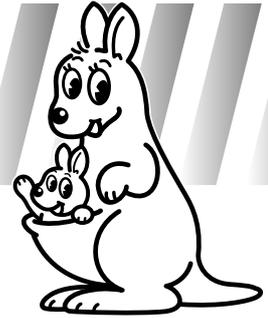
また、東日本大震災の被災地支援のため「義援金コーヒー」を行っています。このコーヒー代は義援金として東北へ送らせていただきます。コーヒーを飲みながらお母さん同士が子育てのことを話したり、情報交換をしたり、とてもリラックスしている姿がみられます。またボランティアの先輩ママさんに、

子育ての悩みやアドバイスを聞いていらっしゃる方もいます。

子育てサロンは毎回やることは決まっていません。日程の時間内であれば、いつ来ていつ帰っても良いので、とても自由な雰囲気です。子どもを遊ばせながら、お母さん達がお話をしながらリフレッシュできる環境をこれからもお手伝いしていきたいと思えます。興味をお持ちの方は気軽に足を運んでください!!



ご案内



★小坂子育てサロン『ちびぞう』★

この子育てサロンは、月1回土曜日に小坂公民館で開催しています。内容や持ち物は上竹田子育てサロンと同じです。1年前から土曜日開催を試みようということで、はじまりました。

小坂子育てサロンは、愛称『ちびぞう』で親しまれています。村内なら誰でも来ていただけるようにと、この愛称をつけました。『ちびぞう』は『ザガズー』という絵本からとりました。この絵本は、ある幸せに暮らすカップルのところに小包が届くところから始まります。その中身は、なんとかわいい赤ちゃん！ふたりは『ザガズー』と名付け大事に育てます。

しかし、その赤ちゃんがある日ハゲタカになって、毎日キーキー泣き、その後、ちいさなゾウに姿を変えます。物を壊したり、なんでも口に入れようと大暴れしたり、ちょうどサロンに来る子ども達がそのぐらいの年齢なので『ちびぞう』とつけました。『ちびぞう』は土曜日開催ということもあり、参加者は保育園や小学生低学年の子どもが多く、とっても賑やかです。兄弟で参加することも多く、お兄ちゃん、お姉ちゃんが小さな子の面倒を見ながら一緒に遊んでいます。

また、参加者の方からご提案いただき、日本赤十字社長野県支部の講師の方による幼児安全法短期講習会やJAの方に来ていただき「醤油麴作り」を行いました。来年の1月～3月には講師をお招きしてレクリエーションダンスも行う予定です。ぜひ、遊びに来てください!!

また2つの「子育てサロン」ではボランティアさんを募集しています。募集の対象は、子どもと一緒に遊んでいただける方、お母さんのお話し相手をしてくれる方、会場の準備や味噌汁作りです。子どもが好きな方、ぜひ社会福祉協議会までお問い合わせください。



これからも地域のボランティアさんと一緒に、お母さんがリフレッシュできるような子育てサロンをつくっていきたいと思います。



上竹田・小坂の各子育てサロンについての
お問い合わせ ☎ 87-8754
いちいの里すばる

介護職員初任者研修



平成25年9月21日(土)から、介護職員初任者研修が始まりました。この介護職員初任者研修とは、介護現場で働くために必要となる旧ホームヘルパー2級に代わる新しい資格取得のための研修です。この研修では、介護をするにあたって最低限必要な知識や技術を習得するためのカリキュラムが組まれており、130時間の講義や演習、実習の後に修了試験が行われます。開講以来、介護の職務についての理解や、利用者の尊厳の保持や自立支援、介護に関わる制度の基礎知識、老化や認知症の理解を深める内容を学んできています。

受講生の皆さんは11名で、受講理由も「現在働いている介護施設で必要」という方や「新しく介護の仕事につきたい」「自分の今後の人生に役立てたい」という方まで、様々です。年齢も幅広いですが、皆さん和気あいあいとしていて、とても明るい雰囲気の中で講義を受けています。

11月23日(土)の講義「快適な住環境整備と介護」では、福祉用具の業者の方に講師になっていただき、デイサービスを使って色々な福祉用具を実際に体験しました。受講生の皆さんは、介護の経験がない人が多いので、初めてみる福祉用具に「すごいね」「こんな用具があるんだ」ととても興味を持っていました。実際にリフトや車イスに乗って介助されると、「とても窮屈だね」「結構速く感じるんだね」と色々



建部の里・小規模すばる

10月21日

秋の合同大運動会！

雲ひとつ無い秋晴れの空の下、建部の里と小規模すばるとの初めての合同大運動会が開催されました。

建部の里と小規模すばるの利用者さん、地域のボランティアさん、職員により混成チームを作り、赤組と白組に別れ、まずは各組の代表者による選手宣誓が行われました。

次にお互いにエールを送り、いざ競技開始!!

玉入れや紐引き、パン食い競争、お玉を使って隣の人へピンポン玉を渡す玉玉リレーと順次競技が展開されました。

玉玉リレーでは、「そーっとだよ!」、「落ちないように気を付けて!」と赤組も白組も大盛り上がりでした。

職員による特別競技ではボランティアさんも一緒に、片栗粉の中に隠された大福を探す『宝探し』を行いました。

大福を探し出した職員やボランティアさんの真っ白になった顔を見て、皆さん大いに笑っていました。

初めての合同大運動会は、30名以上の参加者で「あれ、見たことある人がいるよ」、「久しぶりだね」と普段会えない方との交流もできて、皆さんとても楽しまれていた様子でした。

またこのような交流を続けていきたいと思います。



な感想も出てきています。

講師の先生からは、「福祉用具はとても便利なものだけど、介助される側にとっては必ずしも良いと感じるものではない。介助者は、介助される側の立場を考えながら介護をすることが大切」というお話をいただいています。

この先、移動や食事、排せつの介護演習があり、介護の技術を習得していく予定ですが、受講生の皆さんが今回の講義で学んだことを、今後の講義や研修終了後に生かしていただければよいと期待されます。まだまだ研修自体は折り返し地点です。受講生の皆さん、頑張りましょう!!



障害者生活・就労支援／地域交流センターすばる

お楽しみ会

就労支援センターすばるでは、仕事の息抜きと交流のために、月一回お楽しみ会を行っています。

11月は「焼き芋大会」を行いました。春に地域のボランティアさんにご協力いただきながらマルチひきを行い、自分たちで芋をつくりました。なかなか苦勞しましたが、おいしくできて皆さん満足の様子でした。

12月には、「スイーツデコ」に挑戦しました。ボランティアさんの指導のもと、紙ねんどでできたクッキーやマカロンのデコレーションをしました。まるで本物のような仕上がりでおいそうな

作品がたくさんできました。

お楽しみ会で息抜きしながら、また日々の作業に取り組んでいただきたいと思います。



箱詰め作業

山形村観光協会より委託を受けて、「山形村特産 冬のよくばりセット」の野菜の箱詰め作業をしました。寒い中長芋を洗う作業から行い、段ボールを組み立ててシールを

はり、長芋、りんご、そばの詰め合わせをつくりました。農家さんにもお手伝いいただき、みなさん真剣に取り組んでいました。

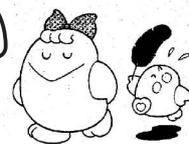
就労センターすばるでは、お仕事の委託も随時募集しております。ぜひご相談ください。



あたたかな善意、ありがとうございます



赤い羽根・歳末たすけあい 共同募金運動の実施結果



平成25年度／赤い羽根・歳末たすけあい共同募金運動を、10月1日から10月31日にかけて実施したところ、下表のような実績となり、全額を長野県共同募金会へ送金します。この募金は、その一部が平成26年度において、配分金として村社会福祉協議会へ交付され、各種福祉事業に充てられることとなっています。

総合計 1,956,678円

平成25年12月16日現在

| | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|------------|
| 上大池 | 中大池 | 小坂 | 下大池 | 上竹田 | 下竹田 | 募金総額 |
| 232,000円 | 172,500円 | 377,000円 | 165,000円 | 484,000円 | 487,000円 | |
| 職域 | | 山形小学校 | 鉢盛中学校 | 村内公共施設等 | | 1,956,678円 |
| 6,525円 | | 10,061円 | 7,504円 | 15,088円 | | |

共

小・中学校(福祉協力校)の活動

同

山形小学校では、本年も赤い羽根共同募金活動が行われました。ボランティア委員会の皆さんが昇降口にて募金箱を持って呼びかけて、10,061円の児童から心温まる募金が寄せられました。

また、今年は鉢盛中学校の福祉交流委員会の皆さんにもご協力いただき、7,504円を寄付していただきました。

みなさんのご協力ありがとうございました。



募

金

山形小学校・福祉教育

山形小学校の福祉週間に、1～3年生の福祉教育のお手伝いをさせていただきました。このうち1、2年生は車イス体験、3年生でアイマスク体験を行いました。



それぞれ内容は少しずつ異なりますが、車イスを使用している人・目が見えない人の気持ちを疑似体験し、

介助するときにはどのようにすれば良いかを考えてもらいました。また、車イスを使用していたり、目がみえなくても、できることがたくさんあるということを学んでいただきました。福祉教育を通じて、子どもたちと貴重な時間を過ごすことができました。



まほろば (社協広報/第62号) 平成25年12月27日発行

- 発行所 社会福祉法人 山形村社会福祉協議会 (山形村保健福祉センターいちいの里内)
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村4520番地の1 ☎0263 (97) 2102 FAX0263 (97) 2108
- ホームページアドレス <http://poponet-yamagata.or.jp/>
- 「まほろば」に載せきれなかった記事についてはホームページに掲載されていますので是非ご覧ください。

この印刷物は植物油インキおよび再生紙を使用しています。